

実践×ケーススタディで
構想力・提案力をUP!!

ロボット Sler 養成講座

第6期

Sagamihara Robot
System Integrator Training Program



カリキュラム

事前講義 1	令和4年 8月下旬	• ロボットSlerのための安全講座 • 付加価値に着目したシンプルな設備設計
前期	令和4年 9月5日(月) 6日(火)	• 課題やニーズを引き出す質問力 • 事前講義①Q&A • Sler目線での現地調査ポイント • 現地調査・ヒアリング
事前講義 2	令和4年 9月下旬	• ロボットSlerに必要な プロジェクトマネジメントの考え方
中期	令和4年 10月17日(月) 18日(火)	• Slerケーススタディ①「食品業界」 • 事前講義②Q&A • 産業用ロボット導入のポイント • 中間発表会
事前講義 3	令和4年 10月下旬	• 協働ロボットと周辺機器 • シミュレータの最新動向
後期	令和4年 11月14日(月) 15日(火)	• Slerケーススタディ②「マテハン」 • 事前講義③Q&A • ロボットダイジェスト 注目の最新ロボット技術・業界動向 • Sler協会とSI検定制度 • 最終発表会

単科生制度導入!

オンデマンド講義(録画配信)を1科目から
受講できる「単科生制度」を導入しました。

<こんな方におすすめ>

- ★ 特定のテーマのみ受講したい方
- ★ スケジュールの都合ですべての
講義には参加できない方

※単科受講できる科目や受講料等は、
中面のカリキュラムや募集要項でご確認ください。
※学生(大学・高専生)と本講座修了生は
“無料”で単科受講できます。
※配信期間は、
配信開始日～令和4年11月30日(水)まで。



さがみはらロボット
導入支援センター
Sagamihara ROBOT SUPPORT CENTER

ロボット Sler 養成講座とは？

これからのロボットSlerには、工場や生産工程全体を捉えたシステム構想力・提案力が欠かせません。また、リモートでの顧客対応力やヒアリング力／プレゼンテーション力もますます重要になっています。第6期を迎える「ロボットSler養成講座」は、実践×ケーススタディを中心にカリキュラム編成された相模原市オリジナルの超実践型自動化人材育成プログラムです。

講座期間内であれば、好きなときに、何度でも視聴可能!!

本講座のポイント

POINT

1 実践型グループワーク



実際に自動化・ロボット導入を検討している企業を題材とした実践型グループワーク

POINT

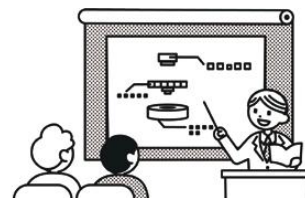
2 ケーススタディ



自動化ニーズが高まる業種や生産工程の事例を活用したケーススタディ

POINT

3 オンデマンド講義



Slerに必要な知識を学ぶ技術講座のオンデマンド配信(事前講義のみ)

ロボットSlerとしての「構想力・提案力」や「専門性」をアップ!!

ロボットシステムに携わるすべての方へ

これまでの5年間で幅広い地域から80名以上が受講。ロボットSlerだけでなく、メーカーや商社などからも受講実績あり。自動化やロボットシステムに携わる幅広い皆様にご活用いただけます。受講生同士のネットワーク形成にもお役立てください。

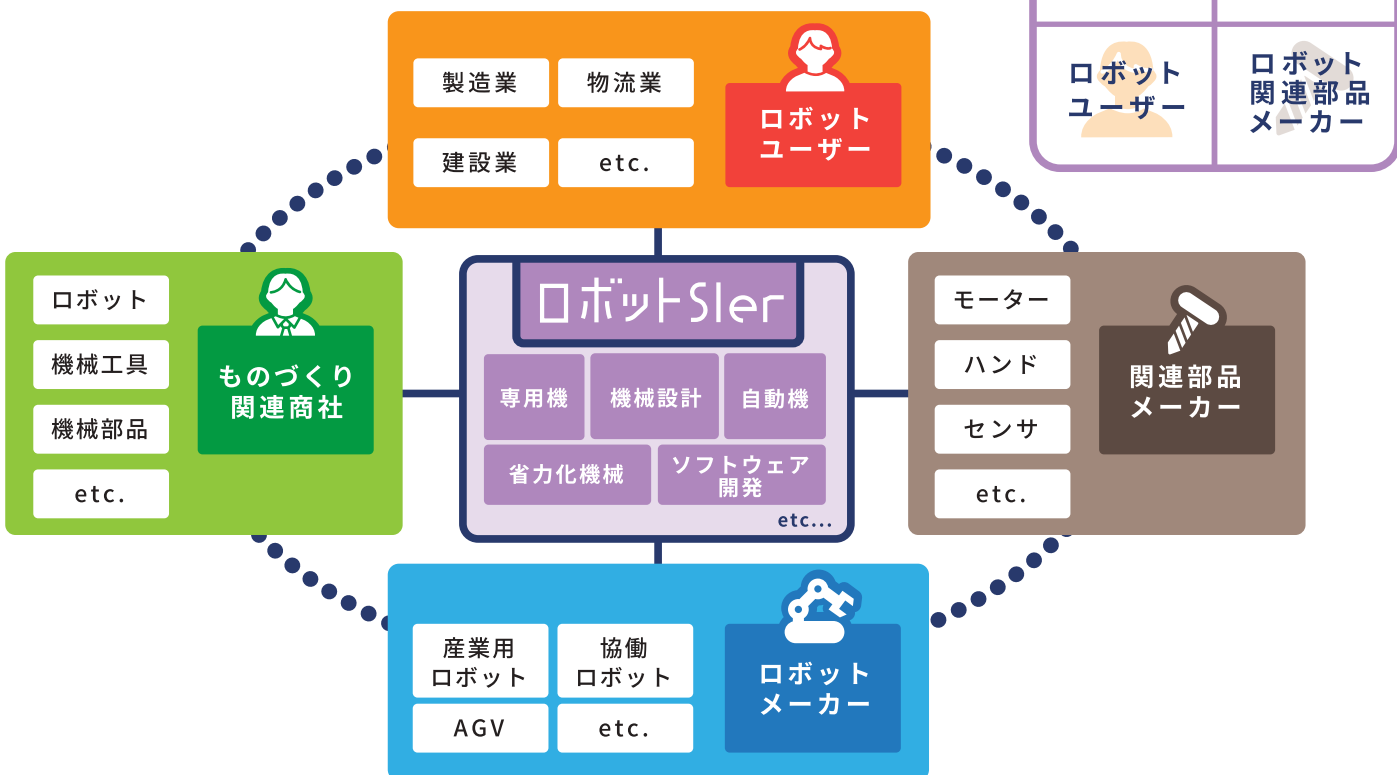
こんな方におすすめ!

ものづくり
関連商社

ロボット
Sler

ロボット
ユーザー

ロボット
関連部品
メーカー



カリキュラム

オリエンテーション

LIVE オンライン

単科
受講

8月25日(木)
or 26日(金)
10:00-11:00

ロボットSler養成講座の進め方とカリキュラム説明

さがみはらロボット導入支援センター

事前講義①

REC オンデマンド

(配信期間:令和4年8月下旬~令和4年11月30日(水)まで)

令和4年
8月下旬に
配信予定

① ロボットSlerのための安全講座(約5時間)

日本認証株式会社 SA事業部 教育事業部 部長
栃尾 昌洋 氏

② 付加価値に着目したシンプルな設備設計(約3時間)

青山学院大学 理工学部 経営システム工学科 教授
松本 俊之 氏

前期

リアル参加

9月5日(月)
10:00-17:00

課題やニーズを引き出す質問力

株式会社スタンコミュニケーションズ
代表取締役 松尾 由紀子 氏

事前講義①Q&A(15:10~16:00)

①「ロボットSlerのための安全講座」

日本認証株式会社 SA事業部 教育事業部
部長 栃尾 昌洋 氏

現地調査・ヒアリングの事前説明

さがみはらロボット導入支援センター

9月6日(火)
10:00-17:00

事前講義①Q&A(10:00~10:50)

②「付加価値に着目したシンプルな設備設計」

青山学院大学 理工学部 経営システム工学科
教授 松本 俊之 氏

Sler目線での現地調査ポイント

JET株式会社

現地調査・ヒアリング/グループワーク

現地調査・ヒアリング先企業

事前講義②

REC オンデマンド

(配信期間:令和4年9月下旬~令和4年11月30日(水)まで)

9月下旬に
配信予定

③ ロボットSlerに必要な
プロジェクトマネジメントの考え方(約3時間)

アイシンク株式会社
代表取締役 伊藤 健太郎 氏

中期

LIVE オンライン

10月17日(月)
10:00-17:00

Slerケーススタディ①「食品業界」

ABB株式会社

事前講義②Q&A(10:00~10:50)

③「ロボットSlerに必要なプロジェクトマネジメントの考え方」

アイシンク株式会社
代表取締役 伊藤 健太郎 氏

10月18日(火)
10:00-17:00

産業用ロボット導入のポイント

株式会社アラキエンジニアリング
代表取締役 荒木 弥 氏

中間発表会

事前講義③

REC オンデマンド

(配信期間:令和4年10月下旬~令和4年11月30日(水)まで)

10月下旬に
配信予定

④ 協働ロボットと周辺機器
・シミュレータの最新動向(約3時間)

ダイドー株式会社

後期

LIVE オンライン

11月14日(月)
10:00-17:00

Slerケーススタディ②「マテリアルハンドリング」

株式会社日本設計工業

事前講義③Q&A(10:00~10:50)

④「協働ロボットと周辺機器・シミュレータの最新動向」

ダイドー株式会社

11月15日(火)
10:00-17:00

ロボットダイジェスト 注目の最新ロボット技術・業界動向

株式会社ニュースダイジェスト社
robot digest 編集デスク 曾根 勇也 氏

FA・ロボットシステムインテグレータ協会とSI検定制度

FA・ロボットシステムインテグレータ協会
高本 治明 氏

最終発表会

※単科受講は、「オンデマンド配信による事前講義」と「ライブ配信による事前講義Q&A」の1セットでの受講となります。

講師



日本認証株式会社
SA事業部 教育事業部 部長

栃尾 昌洋 氏

長岡技術科学大学機械システム創造専攻修士卒業。在学時より機械安全に取り組み、学内ベンチャーも立ち上げた。その後、外資系コンポーネントメーカの営業を経て、日本認証に入社。機械安全に関する講習会講師を担当し、国内外で年間100回以上の講習会を実施。また、コンサルタントとして、製造現場で個別課題の解決にも取り組んでいる。



青山学院大学
理工学部 経営システム工学科 教授

松本 俊之 氏

慶應義塾大学大学院理工学研究科博士課程管理工学専攻修了。現在は青山学院大学理工学部経営システム工学科教授。博士(工学)。専門はIE (Industrial Engineering) であり、「見る、視る、観る、やって試る」を基本姿勢として、現場改善技術と教育システムの開発の研究にあっている。



株式会社スタンコミュニケーションズ
代表取締役

松尾 由紀子 氏

スピーチコーチ。国内外テレビ局での取材記者アナウンサーとしての経験から、ロジカルコミュニケーション、プレゼンテーションを専門に企業研修を実施している。会社経営者や管理職向けに、オンラインでの言語化力やヒアリング力向上研修を実施し、「相手の時間を奪わない」コミュニケーションの実現に貢献している。



JET株式会社

超精密機械加工、高精度ハイテック産業機器（製造設備、ロボット等）の開発・設計・製造、省力化自動機、多軸ロボットを組み合わせたロボットシステムの設計開発業務を展開する相模原市内の提案型システムインテグレータ。豊富な経験と“得意分野技術”の磨き上げで、地域内外の顧客ニーズに対応している。



アイシंक株式会社
代表取締役

伊藤 健太郎 氏

九州大学工学部修士課程修了。米国PMI®認定PMP®資格保有、東京大学特別講師。日本鋼管株式会社(NKK、現JFEエンジニアリング株式会社)にて船舶用エンジンの製造や、環境プラントの国内・海外でのプロジェクトに従事。主な著書に「プロジェクトはなぜ失敗するのか(日経BP社)」「戦略的エンタープライズプロジェクトマネジメント(翻訳、生産性出版)」「狩猟型プロジェクト・マネジャーの哲学(生産性出版)」などがある。



ABB株式会社

ABB ロボティクスジャパンは、塗装を中心に産業用ロボット市場の黎明期から日本で事業を行っている。旧来より軌跡精度や耐環境性が求められる用途を得意とし、近年ではシミュレーション技術などを生かして協働ロボットや三品産業の包装工程に多くの実績とノウハウを蓄え、顧客やパートナーとともに課題解決に尽力している。



株式会社アラキエンジニアリング
代表取締役

荒木 弥 氏

浜松市内企業で、ロボット周辺機器の開発やシステム構想設計に加え、トラブル対応・営業技術などの顧客案件に従事。50歳を機に今後の人生を自分で創り出していく生き方を決意し、2013年にアラキエンジニアリングを設立。中小企業への産業用ロボット普及活動とバリ取りや研磨等に代表される仕上げ作業工程改善の技術支援を通して、「ロボットで人の心を動かす仕事」を目指す。2020年には3社連合のバリ取り問題解決チーム「TAFLINK」を立ち上げる。



ダイドー株式会社

全国に40拠点を展開する提案型メカトロニクス専門商社。全国の多種多様な業界に精通した幅広いノウハウを強みに、顧客の課題解決に資するシステム提案などを行っている。また、「観る・試す・学ぶ」をコンセプトとしたロボット館を東京・名古屋・福岡に開設するなど、ロボット導入支援にも力を入れている。

NISSETSUKO 株式会社 日本設計工業

多種多様な業界向けに産業ロボットを使用したシステムをトータルコーディネートしている。自動化・人との協働を目指した柔軟な対応等、目的に合わせたシステムをユーザー目線で提供。また、ロボット周辺機器として走行台車・各種ハンド・搬送コンベヤ各種を標準として取り揃えており、短期間・高品質・安価でトータルシステムを提供している。



株式会社ニュースダイジェスト社
robot digest(ロボットダイジェスト)編集デスク

曾根 勇也 氏

FA専門誌「月刊生産財マーケティング」を発行するニュースダイジェスト社に2013年入社。同誌の編集記者を経て、2018年に編集デスクとして産業用ロボット専門ウェブマガジン「robot digest(ロボットダイジェスト)」を創刊。ロボット関連のメーカー、商社、Sler、ユーザー、イベントなどを幅広く取材。



FA・ロボットシステムインテグレータ協会
一般社団法人日本ロボット工業会 客員研究員

高本 治明 氏

日本ロボット工業会にて2015年より経済産業省「ロボット導入実証事業」事務局を担当。400件以上のロボット導入事例を担当。その後、FA・ロボットシステムインテグレータ協会の設立に携わり、2018年よりFA・ロボットシステムインテグレータ協会の事務局を担当。教育制度整備、検定制度設立などに携わる。



現地調査・
ヒアリングの様子

募集要項

★相模原市外の企業様も受講できます★

- 【期 間】 令和4年9月～11月(本講義:6日間、事前講義:4科目)※オリエンテーションを除く
 【会 場】 前 期:サン・エールさがみはら(2階・第1研修室)
 中期・後期:オンライン(Zoomミーティング)

【対 象 者】	本 科 生	単 科 生	学 生	修 了 生
	★ ロボットSierの若手・中堅エンジニア	★ ロボットや関連部材メーカーのエンジニア	大学(修士・博士課程を含む)または高等専門学校(高専)に在学中の方。 ※申込受付後、学生証の写し等をご提出いただく場合がございます。	過去に相模原市「ロボットSier養成講座」を修了した方。 ※修了時に在籍していた企業を退職している方は対象外です。
	★ ロボット関連商社の営業スタッフ	★ ものづくり企業(ユーザー企業)のエンジニア など		

【受 講 料】	相模原市内事業者	相模原市外事業者
本 科 生	132,000円	165,000円
単 科 生	1科目 16,500円	1科目 19,800円
学 生	無料	
修 了 生	無料	

(全て消費税込)

※学生が受講できるのは、単科受講のみです(本科受講はできません)
 ※修了生が無料で受講できるのは単科受講のみです。本科受講を希望される場合は、本科生の受講料が適用されます。
 なお、その場合、単科受講科目相当分の割引は行いませんので、あらかじめご了承ください。

- 【定 員】 15名(先着順)※単科生・学生・修了生は定員なし(原則)
 【申込方法】 WEBサイト/E-Mail/FAXよりお申し込みください(申込書参照)
 【主 催】 相模原市・株式会社さがみはら産業創造センター
 【備 考】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、開催方法の変更や開催を延期または中止とする場合があります。その場合、お申し込みいただいた方に別途ご連絡いたします。
 【お問い合わせ】 さがみはらロボット導入支援センター(事務局:株式会社さがみはら産業創造センター)
 担当:事業創造部 樽川(たるかわ)・花摘(はなつみ)
 〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本5-4-21
 TEL:042-770-9119 FAX:042-770-9077 E-Mail:sier-info@sic-sagamihara.jp

アクセス

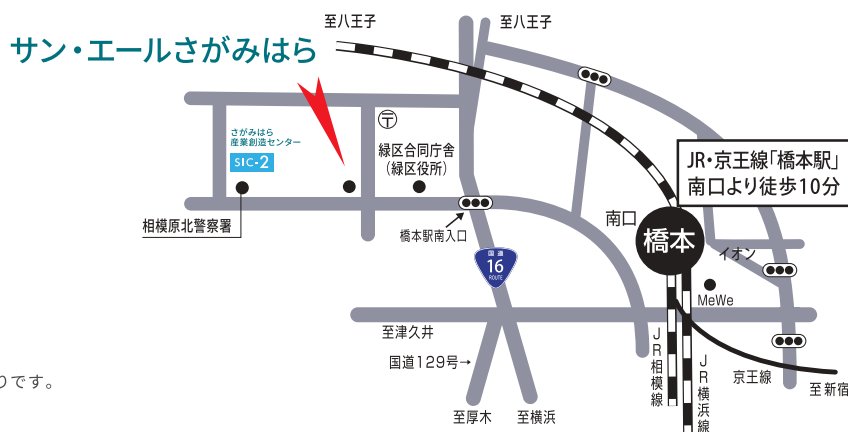


橋本駅より徒歩約10分

JR 横浜線、JR 相模線、京王線の3線が停車する橋本駅が最寄りです。
 将来リニア中央新幹線の停車駅にもなる期待の高まる駅です。

サン・エールさがみはら

〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本5-4-20



「ロボット Sler 養成講座」受講申込書

■ E-Mail または FAX で申し込む場合は、申込書に必要事項をご記入のうえ、下記申込先までお送りください。
受付後、受講料のお支払いや受講方法などについてご連絡いたします。

【申込先】 E-Mail: sier-info@sic-sagamihara.jp FAX: 042-770-9077

WEBサイトは
こちらから

■ さがみはらロボット導入支援センターのWEBサイトからもお申し込みできます。

【URL】 <https://www.sic-sagamihara.jp/robot/seminar>



申込内容

すべての方	
受講枠 (希望する受講枠に○)	本科生 ・ 単科生 ・ 学生 ・ 修了生
オリエンテーション 参加希望日 (希望日程に☑) ※Zoom ミーティングを利用します。	令和 4 年 8 月 25 日 (木) 10 時～ 11 時
	令和 4 年 8 月 26 日 (金) 10 時～ 11 時
	※ご都合がつかない場合は、別途ご連絡ください
単科生・学生・修了生の方のみ	
受講科目 (希望する科目に☑)	① ロボット Sler のための安全講座
	② 付加価値に着目したシンプルな設備設計
	③ ロボット Sler に必要なプロジェクトマネジメントの考え方
	④ 協働ロボットと周辺機器・シミュレータの最新動向

受講者情報

企業名 (学校名)	フリガナ
	氏名
所属部署 (所属学科等)	役職
所在地 (企業または学校の所在地) 〒	
TEL	E-Mail
受講理由	
Sler 経験年数	使用経験のある主なロボットメーカー
得意とする業種・製品・生産工程など (学生の場合、専攻分野・研究テーマなど)	

※個人情報の取り扱いについて ・ ご記入いただいた個人情報は、さがみはら産業創造センターの事業に関する情報提供と参加者募集のご案内、ご連絡に利用させていただきます。
・ 個人情報は、取扱目的以外に利用したり、第三者に提供することはありません。